

### 3回目のタクシー労働相談（全自交兵庫） 県内17カ所で呼びかけビラ配布

2011年6月12日



自交兵庫地連（北坂隆生委員長）は、組織拡大の取り組みの一環として「タクシー何でも労働相談」を、6月11日と12日の両日に連合兵庫会館とJR元町駅前に開設しました。

兵庫地連としては、昨年5月、11月に続いて3回目で、開設に先立って、東は尼崎、伊丹から西は姫路までの17カ所のJR駅構内タクシー乗り場で、乗務員にチラシを配布し、相談所開設を伝えました。

11日は北坂委員長、12日は板橋副委員長が連合兵庫会館で電話の受付を、成田書記長が両日ともJR元町駅前で街頭受付を行いました。この相談コーナーは、連合兵庫が6月6日から12日まで行っている「連合ダイヤル何でも労働相談」の最後の2日間をタクシーの日として位置づけて設定したものです。

今回はタクシーに関する相談はありませんでしたが、一般受付で、若い人と熟年者で仕事が見つからないという相談が非常に目立ちました。

この労働相談は継続性が大事であり広報も含めて強化していく必要があります。兵庫地連の組織拡大の原点は、「連合ダイヤル何でも労働相談」への電話から始まっていることを考えれば、非常に重要な運動といえます。